

第1回 精華町上下水道事業審議会 議事録

日時

平成29年11月1日（水）午前10時～正午

場所

精華町上下水道部事務所 2階 会議室

出席者

川勝委員、小島委員、片上委員、木村委員、白畑委員
高橋委員、鳥生委員、西島委員、長谷川委員、吉田委員

事務局

浦西上下水道部長、吉田上水道課長、川嶋下水道課長、笹木上水道課長補佐、
吉岡上水道課長補佐、中西上水道担当課長補佐、岡本下水道担当課長補佐、
村田上水道課営業係長、岡田上水道課営業担当係長、岩井上水道課施設建設係長、
山田下水道課庶務係長、上田下水道課下水道係長

傍聴者

なし

議事

1. 開会
2. 委嘱状の交付
*木村要精華町長より委嘱状の交付
3. 精華町長あいさつ
4. 委員の紹介
5. 事務局の紹介
6. 精華町上下水道事業審議会について
*事務局から資料3にて説明
7. 会長及び副会長の選出
審議会設置条例第5条の規定により会長及び副会長を選出
委員の互選により、会長に川勝委員、副会長に小島委員が選出された。
*会長あいさつ
8. 諮問について
*町長より会長に諮問書を提出
9. 審議事項

- ①精華町上水道事業の現状について
 - ②精華町公共下水道事業の現状について
- *事務局から資料4、5の内容を説明

10. 質疑等

【主な質疑】

- (委員) 下水の接続率について、どのような指導をしていますか。接続されていないところに対しての指導は、毎年定期的にやっていますか。また、どのような家庭事情か、どのような世帯かを把握していますか。
- (事務局) 未接続世帯に対し、接続依頼をしています。
未接続の理由は、接続費用がないというのが一番多い回答です。出来るだけ早期に接続いただくようお願いしています。
世帯構成は、年齢層が高い家庭が比較的多いというのが現状です。
- (委員) 上水道の資料で水需要の動向を出していますが、将来的にこの先10年は若干増えていくような見込みをされているが、このあたりは他の自治体は人口減少や、節水機器の普及などで、将来減っていったしまうというような見込みをされているところが多いと思いますが、増えている要因は何ですか。また、11ページの更新需要のところ、現在引いている管路施設の老朽化が実際どれくらい進んでいますか。耐用年数を超過してしまっているような資産がどれくらいありますか。
その更新に、いま現在で建設改良費をいくらぐらい支出されていますか。ここ20年間で年間8億円が必要ですよという図を出してもらっているが、それが現実的なのかどうかお伺いします。
- (事務局) 水需要の関係は、今現在、本町では全体的な戸数は増えています。
今後も学研区域の未利用地の開発予定もあることから、これからも増える見込みをしています。
また、企業の進出も今後続くであろうところから計算をしています。
以上のことから、水需要は若干でありますが増えていくであろうと予測をしています。
11ページの更新につきましては、法定耐用年数で試算した場合でありまして、詳しくは次回の審議会でご説明します。
- (委員) 経営の状況で基金を取り崩して維持をしているとのことですが、基金の取り崩しなしでは経営は厳しいとの理解でよいですか。
- (事務局) 基金については増える要素がありません。その中で受水の基本料金の支払いに充てていますので減っていく一方です。
- (委員) 逆に基金に積み立てるといものは毎年ありますか。
- (事務局) 基金を取り崩さないと、現在の水道料金を維持できないということになっていますので、積み立てはできません。
- (委員) 下水道について、13ページの財政状況で平成26年に国庫補助金が急速

に増えて、その後平成27年も増えている。平成27年度或いは28年度に地方債が増えていますが、まとまった投資をされた時期ということですか。

(事務局) この工事費につきましては、雨水路整備工事をしている時期でありまして、九百石川2号雨水路(山川)で、近鉄の軌道の下に雨水のボックスカルバートを入れる工事を近鉄に委託しましたので、そういう大きな工事を実施した時に国庫補助金や地方債が増えているということです。

1 1. 今後のスケジュール

*事務局より別添資料6により説明し了承される。

1 2. 閉会

以 上